

研究課題名：

原因不明の慢性炎症性疾患および不明熱の診断方法及び予後に関する後向き研究

研究の意義と目的

大阪医科大学総合内科で、慢性炎症性疾患または不明熱患者の後向き調査を行い、原因疾患・診断方法について調査を行い、これらの疾患の診療において重視すべき疾患が明らかになり、今後の診療において診断までの期間を短縮するとともに、不要な検査を減らす効果も期待できる可能性があると考えられます。

研究の目的は発熱または炎症反応（CRP）陽性の原因が明らかでない病気の原因疾患は多岐にわたり診断に苦慮します。近年になり新しい疾患概念が確立され、また新しいバイオマーカーの登場および画像診断の進歩も著しいと考えられますが、これらの疾患の診断に用いられた検査について評価された論文は僅かです。今回の研究では、これらの疾患の後向き調査を行い、得られたデータの意義を評価するとともに臨床的特徴につき、統計的に検討することです

研究の方法

患者様の外来または入院カルテより、検査所見および症状、検査結果などのデータを収集させていただきます。それらのデータの有用性について統計学的解析を行わせていただきます。

研究の対象

2009年1月以降に検査や治療が行われ、「原因不明の慢性炎症性疾患または不明熱」と診断された16歳以上の患者様

個人情報の取扱い

1. 利用する個人情報は、カルテ内に記載されている観察・検査項目の結果であり、本人を識別する氏名、イニシャル、生年月日などは使用しません。（個人情報保護の観点より、匿名化の後でデータ集計を行うことで個人情報の取り扱いに細心の注意を払います。）
2. 個人情報の利用は当施設の研究担当者に限られています。

利益相反について

本研究で、利益相反はありません。

研究者名

	所属	氏名
研究責任者	総合内科	浮村 聡
主任研究者	総合内科	神崎 裕美子
分担研究者	総合内科	桑田 すずえ
	総合内科	大井 幸昌

主研究施設

大阪医科大学 総合内科

ご意見・問い合わせ

本研究のご参加に同意をされない方は、神崎（下記）までご連絡を宜しくお願い申し上げます。

〒569-8686

大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 総合内科

TEL 072-683-1221(代表) 内線 6438 (神崎裕美子)